

チェックリスト

転落

- 階段の上と下それぞれにベビーゲートを取り付けている。
- 抱っこひもに赤ちゃんを抱き入れたり、反対に抱っこひもから降りたりするときは、床またはすに座って行っている。

転倒・転落

- ベビーカーのハンドルには、買い物袋など重い荷物をかけることはない。
- 赤ちゃんにタオルなどをかけるときは、ベビーカーの車輪にはさまらないよう短めにしている。

自動車・自転車

- チャイルドシートは、赤ちゃんの身体のサイズに合ったものを使用している。
- 赤ちゃんを自動車に乗せるときは、チャイルドシートをエアバック装備のない後部座席に設置している。
- 赤ちゃんを抱っこしたりおんぶしたりして自転車には乗らない。

異物摂取

- 赤ちゃんがさわったりお口に入れたりすると危険なものは、赤ちゃんから見えないところにしまっている。

窒息

- 赤ちゃんに乾いた豆を食べさせると、喉に詰まったり豆のかけらが気管に入ったりして危険なので、乾いた豆は食べさせない。
- 赤ちゃんの寝具は顔が沈み込まない硬さのものを使い、ベッドの中に枕やぬいぐるみ、毛布などは入れない。
- 赤ちゃんのベッドの柵にバスタオルなどをかけない。
- 窒息を予防するため、おもちゃ箱はネット状のものや、空気の通り道のあるものを使う。

やけど

- 電気ケトルはお湯が漏れ出さないタイプのものを使う。
- 炊飯器やポットは蒸気の出ないものを使うか、赤ちゃんの手の届かない位置に置く。
- テーブルクロスやテーブルランナーの上に置いてあるものが落ちてくるかもしれないので、クロスやランナーは使わない。



アンケートへのご協力をお願いします。予防のための情報も掲載しています。



いざという時のために

あつき健康相談ダイヤル24
0120-31-4156

市民の皆様へ限定したサービス。
電話での健康相談と医療機関の情報提供等を行っています。
24時間、年中無休、通話料無料。

かながわ小児救急ダイヤル

#8000 (市外局番が042以外のプッシュフォン回線、携帯電話の方)
045-722-8000 (市外局番が042、ダイヤル回線、IP電話の方)

お子様の体調の急変等に関する電話相談。
毎日18時～24時。

セーフコミュニティあつき

セーフコミュニティとは

事故やけがは、偶然の結果ではなく
予防できるという理念の下、地域住民
と行政等が協働して「地域の誰もがいつ
までも健康で安心・安全に暮らせる
まち」を創ろうという取り組みです。



セーフコミュニティ
認証都市あつき

分野別
対策委員会

外傷サーベイランス
委員会

セーフコミュニティ
推進協議会

市民活動団体
警察・消防・学校
医療機関など



発行：厚木市協働安全部 セーフコミュニティくらし安全課
電話：046-225-2865
企画・制作：NPO法人 Safe Kids Japan
<https://safekidsjapan.org>
イラスト：久保田 修康

SAFE
KIDS
WORLDWIDE
JAPAN

2020年3月31日 無断転載を禁じます

赤ちゃんを

予防できる事故から 守るために

セーフコミュニティあつき



厚木市

赤ちゃんの
安全な移動のために
誕生～2歳頃まで



- チャイルドシートは、国土交通省の認定マーク（Eマーク）のついたものを使います。
- チャイルドシートは、赤ちゃんの身体に合ったサイズのものを選び、エアバック装備のない後部座席に設置します。
- 走行中は赤ちゃんが泣いたり騒いだりしても、チャイルドシートから降ろして抱っこしたりしません。
- ダウンジャケットなど厚手のコートは一度脱がせてからチャイルドシートに座らせ、コートはその上から掛けます。
- 少しの間でも赤ちゃんを自動車の中に残して外に出ないようにします。

厚木市では、こんなことがありました

- 乗用車同士の追突事故。チャイルドシートに座っていた娘は軽症ですんだ（1歳）

赤ちゃんが
危ないものをお口に入れないために
4ヶ月～3歳頃まで



- ボタン電池が内蔵されているリモコンや時計、おもちゃにはテープなどを巻き、中の電池を取り出せないようにします。
- ボタン電池の飲み込みは緊急事態、すぐに救急車を呼ぶか、救急外来に行きます。
- ラップの芯を通るようなサイズのもの、赤ちゃんの見えないところにしまっておきます。
- たばこ、医薬品、洗剤、化粧品、強力マグネットは特に危険です。赤ちゃんに近づけてはいけません。

厚木市では、こんなことがありました

- 電子たばこの吸いがらの半分を飲みこんだ（0歳）
- おもちゃに付いているマグネットを飲みこんだ（3歳）

赤ちゃんが
お風呂で溺れることを防ぐために
8ヶ月～3歳頃まで



- 溺れはおうちの中でも起きます。赤ちゃんのお鼻とお口が水につかれば溺れが発生しますので、お風呂、トイレ、バケツなど、水の溜まっているところに近づけないようにします。お風呂やトイレのドアの高い位置に鍵を取り付け、赤ちゃんが中に入れないようにするとよいでしょう。
- 首浮き輪やパンツ型浮き輪は入浴中に使わないようにしましょう。

厚木市では、こんなことがありました

- 浴室で母親が見ていない時に、浮き輪がひっくり返り沈んでしまった（0歳）
- ベビーゲートをつけていない階段から転落し、頭を打ってしまった（0歳）